

- ・撮影される側に無用な不安や抵抗感、不快感を与えないよう、いきなり一方的に撮影せずにはまきちゃんと撮影させて欲しい旨を相手に伝えて許可を取る（撮影されたくないコスプレイヤーも多いことを理解し、断られたら素直にあきらめること）、自分の名刺などを用意しておき、撮影した相手にはそれを渡す、無理なポーズ要求や不自然アングルからの撮影はしないとといった基本を守り、それらを知らない参加者には積極的に教えるよう努める。
- ・盗撮やなりすまし取材／撮影などは断固として許さない姿勢で周囲に注意を配り、もし発見した場合は絶対に見て見ぬふりをせずに即座に他の参加者にも呼びかけてスタッフに通報するなどの連携を取り、場の安全性を自分たち自身で守る意識を持つ。

⑥特に明確な目的はないがコミケットの雰囲気を楽しみたい散策タイプ

◆傾向と対策>自由に動けるメリットを活かして『お助けマン』になろう！

コミケットにただ参加してみたいだけなら、友人にカタログを借りて参加の注意を読んだら、あとは会期中にビッグサイトへ行けばよい。入場待機列が無くなる風過ぎくらいに到着してそのまま入場し、会場をぶらぶら歩き回って、もし目についたものがあれば同人誌を何冊か買ってみたい、コスプレ広場を覗いてみたい、疲れてきたらそのまま会場を後にすればそれで一般参加完了だ。

しかし、もしそういう参加スタイルを脱却してみたいと思ったら、会場内で周囲をよく見てみよう。

会場内にはいろいろな参加者が居るが、その中に何か困っていたり、調子が悪そうな人は居ないだろうか？

もし、そんな参加者を見つけたら、『大丈夫ですか？』と声をかけてみよう。

困っている参加者の一例として、閉会時間が近づいてくると散見されるのが重そうなダンボール箱をようやく運んでいる人だ。これはサークル参加者が宅配便を出しに行く最中なのだが、難儀しているのが明白なら、『良かったら手を貸しますよ』と、声をかけてみよう。

単なる荷物運びなので、難しいことは何もない。ただ、手伝って一緒に箱を宅配便集配所まで運んであげるだけなのだが、手を貸してもらった方にはこれが非常に助かるし、実に嬉しいのだ。

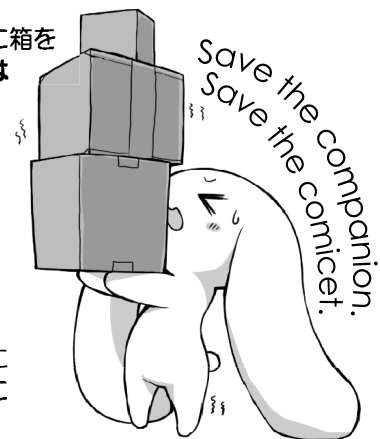
そういうクイックな交流であってもやってみるととても暖かい、充実した気持ちで会場を後にすることができるものだ。

また、会期終了後にはサークルも一般も関係なく参加者有志総がかりの机や椅子の撤去作業がある。これには参加資格などなく、通りすがりに机1本、椅子1脚運ぶだけでもOKと、更に敷居が低い。

最終日に閉会まで残ってられるなら是非参加してみよう。ホールを埋め尽くしていたテーブルと椅子が瞬間に消えていく様子は感動的だ。

このように自分自身の手を、身体を使ってコミケットに参加するようになると、今までただなんとなく来ていただけだったのが急に素敵な場所に感じられるものなのだ。

アナタの手はたくさん参加者から笑顔や『ありがとう』を紡ぎ出せるということを感じておいて欲しい。



ここまで挙げてきたような留意点は何もビギナーだけに限ったものではない。参加回数が数十回を超えるようなベテラン参加者にとっても、参加し始めた頃とは似て非なる現在の状況や体力に沿ってフレキシブルに自分の参加方法や行動予定を修正していくことは、決して無駄ではない。むしろ、そうやって常に最適な参加方法を模索していくことができる参加者こそが、真のベテラン参加者なのだ。

ほんの少しの知識と準備で、コミケットはもっともっと楽に参加できる場所になる。

つまりそれはより余裕ができるということであり、その分良い本にであえるチャンスが増えたり、他の参加者との交流をもてたりと、コミケットを更に楽しめるようになるということにほかならない。

年に数日しかない貴重な会期時間、どうせなら自分にとっても、自分以外の参加者にとっても、最大限良い時間にしよう。

コミケット参加者のためのルールはコミケット準備会公式Webサイト及び、当Comi-NaviのWebサイトにも掲載されている。これをお読みの皆さんは周囲のカタログを購入しなかった参加予定者にも、必ず事前に一読しておくよう強く薦めて欲しい。